

## 公共交通に関する地域への聞き取り結果（中間報告）について

## 1 実施目的

アンケート調査を補完し、各地域の現状を把握することを目的に、公共交通に関し地域住民から寄せられている意見、要望等の聞き取りを行った。

## 2 実施期間

平成29年9月下旬～平成29年11月上旬

## 3 対象者

- ・本協議会委員（市民の代表）及び区長協議会
- ・三木市老人クラブ連合会役員
- ・各種団体（三木市社会福祉協議会、らんらん倶楽部（志染地域））

## 4 実施結果

地域名	項目	内容
三木南	地域内のバス路線の認知について	地域内のバス路線を十分に認識していないため、北播磨総合医療センターや買い物へ行けることを知らなかった。地域に特化したバス時刻表があればよいのではないか。
	バスルートについて	三木南地域から神鉄駅へアクセスする手段を確保してほしい。民家が点在している地域では、定時定路線バスで全てを賄うのは難しい。
	新たな地域交通手段の導入について	80歳を超えて運転する人もいるが、今後、自動車運転免許証を自主返納することが考えられる。デマンド型交通の導入を検討してほしい。 また、地域ふれあいバスの導入については、運行の担い手がいるかどうか分からないが、制度について教えてほしい。
	乗継運賃について	「一律運賃制」により200円で乗車できる

		が、乗り継ぐと追加して運賃がかかる。追加運賃がかからなければ、より移動しやすくなる。
志染	地域内のバス路線の認知について	地域の路線図をみると、地域内で運行しているバス路線がよく分かる。地域の公民館に掲示してはどうかと思う。
	新たな地域交通手段の導入について	志染地域は東西に長く地域によって行きたい場所が異なるため、地域ふれあいバスの運行は難しい部分がある。
細川	地域の拠点整備について	細川町公民館前をミニバスターミナルとして整備し、地域の拠点とすることで魅力を高めたい。
	バスルートについて	細川町公民館から恵比須駅へ行けるようにしてほしい。このルートがあればよいという話はよく出るが、実際利用するかとなると疑問。
	乗継ぎについて	夕方の医療センターからの帰りの便について、三木営業所で乗り継ぐことにより地域まで帰って来られるが、高齢者にとっては乗継ぎが分からないなど、抵抗は大きい。
	地域住民の利用促進活動について	路線バスや地域ふれあいバスを「初めて」利用するときのハードルが高い。「買い物へ行けるバス」と打ち出し、1日乗車体験会を開催してはどうか。一度乗車すればそのダイヤを覚え、その後も利用するようになる。
	周知・PRについて	バス時刻表が回覧で回って来ても、それを必要とする高齢者の手に届いていないことがある。「高齢者の皆様へ」や「バスを利用する皆様へ」などと表記してはどうか。
緑が丘	バスルートについて	緑が丘地域からネスタリゾート神戸への交通の便をよくしてもらいたい。
	バス利用について	以前はバス車内（三宮線）に時刻表が設置されていたが、現在はないたため設置しても

		<p>らいたい。</p> <p>バスのダイヤ改正の際、改正後も「改正した」ことをバス車内のディスプレイ等で引き続き表示してもらいたい。</p>
	周知・PRについて	<p>時刻表を見て「買い物へ行ける」「観光地へ行ける」ことが分かるよう、時刻表に写真を入れてはどうか。</p>
青山	聞き取り等の意見交換について	<p>地域への聞き取りは、今後も続けてほしい。</p>
	バスルートについて	<p>青山・緑が丘循環ルートは、緑が丘駅、緑が丘町自治会館、緑が丘町公民館及び青山公民館を通るルートとしてほしい。</p> <p>高齢者が円滑に移動できる手段を確保していきたい。</p>
	鉄道とバスとの接続について	<p>青山5丁目～三宮線ができ便利になったが、帰りは三宮～恵比須駅線に乗ることもあるため、緑が丘駅での青山方面へ行くバスの乗継ぎを改善してほしい。</p>
	地域住民の利用促進活動について	<p>地域の広報紙に公共交通に関する記事を掲載するなど、地域を挙げて啓発活動に取り組みたい。</p>
	周知・PRについて	<p>インターネットを活用すれば、公共交通をより快適に利用できる。</p> <p>夕方に医療センターからバスの乗継ぎや神鉄利用で帰られるのであれば、それが高齢者にも分かるような紙面にして案内してほしい。情報が必要な人に届いていない。民生委員も協力する。</p>
吉川	バスルートについて	<p>吉川方面から三木市街地へのバス路線があるが、市役所へ行くルートがあるとよいと思う。</p> <p>また、よかたんバスのフリー乗降制度は便利と聞くため、可能な場所で希望があれば広げていくとよいと思う。</p>

	一律運賃制について	高校生の保護者が大変喜ばれている。
三木市 社会福祉協議会	地域の移送サービスについて	三木市社会福祉協議会の移送ボランティア（福祉有償運送）を4団体で行っている。おおむね要介護度3以上で、自分で公共交通の利用が困難な方を対象に病院等への移送を行っている。
らんらん倶楽部（志染地域）	地域の移送サービスについて	らんらん倶楽部（まちづくり協議会の構成団体）が三木市社会福祉協議会の地域活動車を利用して、公民館でふれあいサロンがある際の移送サービスを行っている。高齢者にとって、公民館が寄りどころとなっている。

## 5 その他

公共交通に関する地域への聞き取りは、今後とも継続していく。